

2016年12月6日

全国大学高専教職員組合 御中

熊本高専熊本キャンパス
教職員組合委員長 古江研也



「熊本地震救援募金」に対する御礼

拝啓

この度の熊本震災に際し、貴組合から心温まるお見舞いと共に義援金を頂きました。熊本キャンパス教職員組合を代表致しまして厚く御礼申し上げます。特に、全国の組合員の皆さまからの募金ということで、心強い励ましを受けた思いです。

熊本は、4月の2度に及ぶ本震と6月の豪雨により、見るも無惨な姿となりました。また、その後も震度3から4程度の余震が続き、現在はその回数は減ったとはいえ立ち直ろうとする者に精神的なダメージを与えています。本組合員の中にも住居の全半壊により避難先での生活を余儀なくされている人がいます。また、4月と同程度の地震がもう1回あれば、自宅に住めなくなる人も複数いて、潜在的な不安を抱えながら日々を過ごしています。高専の施設に関しては、第1体育館、第2体育館が被害に遭い、来春3月まで使用できない状態です。授業や学生生活動に支障がありますが、11月から順次復旧工事が始まったこともあり、希望の光が差したところです。

皆さまから頂いた義援金は、ありがたく頂戴し、本組合からの支援金と合わせて被災した組合員に渡します。

本来ならばご支援いただいた組合員の皆さまと各単組の方々に直接御礼を申し上げるべきところではございますが、この書面をもちまして御礼に代えさせていただきます。

敬具